

社 協 だより

第166号
令和3年
9月10日発行

“安心”を
お届けしています

写真撮影のため、一時的に
マスクを外していただきました。

誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進します



編集・発行

社会福祉法人 佐渡市社会福祉協議会

<http://care-net.biz/15/sado-shakyo/>

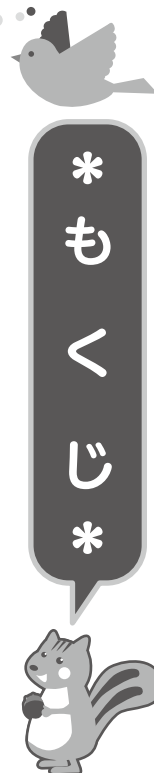
佐渡市社協

検索



佐渡市畑野甲533番地 TEL 0259-81-1155 FAX 0259-81-1156

もくじ



- ◆ 表紙の紹介…………… 2ページ
- ◆ かんたんタオル体操…………… 2ページ
自宅で簡単にできる体操のご紹介です。
- ◆ 続・社協改革…………… 3ページ
社協が進める組織改革と、守るべき使命についてお伝えします。
- ◆ ボランチャコーナー…………… 4ページ
市内各地で活躍されているボランティアさんの紹介と、地域出張型災害ボランティア講座のお知らせです。
- ◆ 地域包括支援センターについて…………… 5ページ
- ◆ 介護予防事業対象者把握について…………… 5ページ
- ◆ 寄付のお礼…………… 6ページ
- ◆ 赤い羽根共同募金のおねがい…………… 6ページ
- ◆ お知らせ…………… 6ページ
- ◆ かんがえて応募!…………… 7ページ
脳トレ問題にチャレンジしましょう!
- ◆ 敬老の日記念!100歳紹介…………… 8ページ
敬老の日を祝して、元気な100歳の皆さんをご紹介します。
- ◆ このマークなあに?…………… 8ページ
子ども向けの福祉情報です。
今回は「聴覚障がい者マーク」を紹介します。

今月の表紙



「あかごまり東福祉会」と「あかごまり西福祉会」では、月に一度、一人暮らし高齢者等のお宅を訪ねています。この見守り活動が始まったのは平成19年。雨でも雪でもコロナ禍でも休むことなく、十数年続く、息の長い活動です。

「おはようございます。福祉会です。」

「はあ、い、ちよっと待って〜。」

奥の部屋から、「いやあ、いつもすみませんねえ。」と元気な姿を見せた方は、「気にかけていただいて、ありがたい、もったいないことです。だから、自分も健康でいることを心掛けています。」と、顔見知りの方が訪問してくれて安心な様子でした。また、福祉会の皆さんも、毎月訪問しているからこそ、ちょっとした変化に気づくことができると話してくださいました。

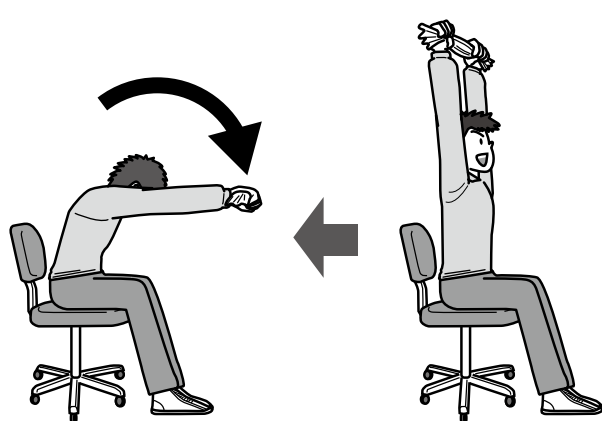
※「地域福祉会」とは、自分の住んでいる地域を住民自らの手で、誰もが生活しやすいようにするための活動を行う、住民の自主的な組織です。

かんたん!
タオル体操

家でやってみてくれえつちゃ!



タオルを肩幅に持って、バンザイをするようにグーッと背伸び。



おへそを覗き込むようにゆっくりと背中を丸め、肩から腰にかけての筋肉が伸びるのを感じましょう。

続・社協改革

「あれもこれも」から「あれとこれと」へ

平成30年、イベント型から個別支援への転換期を迎えていた私たちは、社協まつりなどのイベント事業の終了を決断し、同時に訪問介護事業所などの再編成を行いました。あれから3年が経ちますが、私たちは引き続き、事業所の統合や休止、営業日の変更などを行い、業務のスリム化を進めています。

なぜ私たちはこのようなことをしているのか。自問自答の意味も込めて、今回取り上げることにしました。

少子高齢化によって人口減少が続いている佐渡では、さまざまな「資源」が減ってきています。人であれ、物であれ、金であれ、限られた資源の中で何かを充実させるためには、他の何かを縮小せざるを得ません。また、その資源の中で今までどおりの運営が難しくなったとき、例えば「これまでの70%の内容であれば続けられる」という場合があります。社協における人的資源を例に挙げると、ケアマネジャーなどの有資格者が全体的に不足し、限られた人員で市内全域をサポートするためには事業所の統

廃合が不可欠なものになっています。

このような状況の中で私たちが守り続けているものの、その一つが、市の中心部から離れた地域のデイサービスセンターです。人口減少がすすむ地域でサービスを利用される方が少なければ、採算はとれず、民間企業はなかなか入ってくることはできません。同じ市民なのに、同じように介護保険料を払っているのに、同じようにサービスが受けられないのは不公平ではないか……。どんなに考えても、すべてを同じにすることができないのは事実です。それでも、サービスが「ゼロ」になることだけは防ぎたい。その想いで、規模を小さくしたり、営業日数を減らしたりし、さらに赤字を他の事業の収益で補いながら運営を続けています。

そして地域福祉。これは法に定められた社協の使命であり、私たちの業務の中核となるものです。介護の現場では「自立支援」を掲げ、利用者のできることまで手伝って本人の残存能力を失わせることの

ないようなという考えのもとでサービスを提供していますが、この考え方は地域福祉にも共通しています。地域の力を活かし、足りない部分にだけサポートを行うことで、地域力を保つことが大切なのです。

今は、なくなったものや減ったものばかりが目についてしまっているかもしれません。それは仕方のないことだと思います。しかし、私たちは守るべきもののために業務を見直し、未来に向かっていきます。今後も、今までやってきたことをただ繰り返し実行するのではなく、より積極的に未来を見据えて、社協だからできること、社協でなければできないことを選びすぐって取り組んでいきたいと思っています。

**もっと地域を支える方法はないか。
私たちを必要としている人はいないか。**

これまでもこれから、地域に寄り添い続けるという私たちの使命感が揺らぐことはありません。



これまでに発行した社協だより(第28号以降)のバックナンバーは、ホームページからダウンロードしてご覧いただくことができます。

ボランチャコーナー

どんどん★ボランチャ

「誰かのために自分ができることを」

移送サービスボランティア

金子 章さん（真野地区）



仕事で運転をする機会が多かったことや、社協さんからの紹介もあり、ボランティア活動を始めました。主に病院や施設への送迎を行っています。活動している間は、安全に走行することはもちろん、利用者さんの様子を気に掛けながら運転しています。リラックスしてもらうために、時には地域の話題を交えた会話をすることもあります。

人のために自分ができることを行うことは、とてもやりがいがあります。自分が元気でいる間は、続けていきたいと思っています。



地域出張型災害ボランティア講座を開催します

近年、国内では様々な災害が発生しています。日頃の備えや地域の災害リスクについて、また、災害時に地域で助け合うためにはどうしたら良いか、地域の仲間と一緒に考えてみませんか？2会場で開催します。

【第1回】

日時 11月6日（土） 13時00分～15時00分
会場 アミューズメント佐渡 研修室
定員 30名

*金井地区をモデル地区とした内容で実施しますが、他地区にお住まいの方も参加できます。

【第2回】

日時 11月7日（日） 13時00分～15時00分
会場 佐渡市防災センター（消防本部）
多目的ホール
定員 30名

*真野地区をモデル地区とした内容で実施しますが、他地区にお住まいの方も参加できます。



ボランチャコーナーに関するお問合せは
佐渡市ボランティアセンター ☎ 81-11155

講師 にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏

※講師は三条市からオンラインで参加します。

申込み 10月27日（水）までに、佐渡市ボランティアセンターまたはお近くの

社協各支所・地域センターへお申込みください。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、開催を延期または中止する場合があります。

Q&A あなたの町の 地域包括支援センター

Q1 地域包括支援センターってどんなところ？

65歳以上の方の暮らしや健康に関する相談ごとにお応えするため、市内4か所に設置されている総合相談窓口です。

Q2 どんな人がいるの？

保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士の資格を持った職員が、チームを組んで地域の高齢者を支えます。

Q3 どんな相談にのってくれるの？

例えば…

- ・介護保険サービスを利用したい。
- ・高齢者虐待ではないかと思う家族がいる。
- ・一人暮らしの母親の物忘れがひどくなってきて心配だ。
- ・今は元気だが、今後のために介護予防について知りたい。

Q4 相談料はかかるの？

相談や手続きはすべて無料です。また、直接センターに来られない場合は、お電話をいただければご自宅や入院先の病院等へもお伺いします。まずは、お住まいの地区担当の地域包括支援センターまで、お気軽にご連絡ください。

佐渡東地域包括支援センター		佐渡西地域包括支援センター	
担当地区：両津	☎23-5515	担当地区：相川・佐和田・金井	☎57-8152
佐渡南地域包括支援センター		佐渡中地域包括支援センター（他法人の運営）	
担当地区：小木・羽茂・赤泊	☎88-3844	担当地区：新穂・畑野・真野	☎58-7173

お身体の調子や生活の様子について 教えてください

社協は、佐渡市から「介護予防事業対象者把握」の委託を受けて、対象者の自宅を訪問しています。

★目的

- ・地域の皆さまに、できるだけ寝たきりや認知症などの「介護が必要な状態」にならずに過ごしていただくこと

★対象者

- ・要介護認定を受けていない65歳以上の方

★調査内容

- ・健康状態や生活状況について（利用者基本情報および厚生労働省が作成した基本チェックリストに基づく質問です）

★お伺いする職員

- ・在宅介護支援センターやランチの職員

お聞かせいただいた状態・状況に合わせて、介護予防やご自宅での暮らしに役立つ情報をご案内させていただきます。事前連絡をせずにお伺いする方法で実施していますが、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

この1年に
転んだことは
ありますか？

お茶や汁物で
むせることは
ありますか？

週に1度以上は
外出して
いますか？

日用品の
買い物を
していますか？





あたたかいご寄付をありがとうございます

令和3年6月16日～8月15日(順不同)

笠井 正昭 様(小木町)…………… 100,000円
 吉田 トシエ 様(両津湊)
 …………… 車いす1台、介護用品多数
 たびのホテル佐渡 様
 ……リンスインシャンプー、コンディショナー、ボディソープ他
 佐渡地区郵便局長夫人会 様
 …………… タオル107枚、郵便切手18,258円
 信田 寿雄 様(赤泊)……… 紙オムツ、尿取りパッド
 内田商店 様 …………… 1,189円
 石見 英樹 様(下相川) 歩行器1台、掃除機1台

真宗大谷派 東部護法講 様……………50,000円
 (株)グリーンライフ 様 …… リハビリパンツ4袋
 石塚 様…………… 5,000円
 森 和也 様(愛知県)……………20,000円
 匿名 …………… 1,000円
 匿名 …………… ちり紙6袋
 匿名 …………… 1,000円
 匿名 …………… 155,390円
 匿名 …………… 1,000円

赤い羽根共同募金運動に ご協力をお願いします

令和3年度佐渡市目標額
14,071,000円

10月1日から12月31日までの3ヶ月、
 赤い羽根共同募金運動を実施します。
 皆さまのあたたかいご協力をお願いいた
 します。

なお、詳細につきましては10月8日
 発行の回覧文書等でお知らせいたします。



募金が使われるまでの流れを
 説明するね！

様々な募金活動

- ・戸別募金・職域募金・法人募金
- ・学校募金・その他、窓口での募金など

佐渡市共同募金委員会

新潟県共同募金委員会

約70%

約30%

佐渡市内の地域福祉
 活動を行う団体や施設、
 ボランティアグループへ

新潟県内の福祉施設
 や団体、災害等準備金へ

お知らせ

職員採用試験のご案内

◆試験日

第1次試験：10月24日(日)

第2次試験：11月下旬予定

◆受付期間

9月10日(金)～10月8日(金)

8:30～17:00(土・日、祝日除く)

◆試験内容

第1次試験：作文試験、職場適応性検査

第2次試験：面接試験

◆募集職種

保健師、介護支援専門員、社会福祉士、
 訪問介護員 各若干名

◆その他

申込方法等の詳細については、佐渡
 市社協本所および支所窓口に備え付け
 の受験案内をご覧ください。

※ホームページからもダウンロードで
 きます。

(<http://care-net.biz/15/sado-shakyo/>)

◆申込み・問合せ

佐渡市社協 総務課 総務企画係

電話：81-1155(担当：末武)



問題

組み合わせてできる漢字一文字を□に書きましょう。
□の漢字を並び替えるとある言葉になります。
それが今月の答えです。



やってみよう!

① 冂 + 二 = □

② 口 + 丨 = □

③ 夕 + 口 = □

④ ノ + 木 + 火 = □

答え

□	□	の	□	□
---	---	---	---	---

かんがえて応募!

【応募方法】

ハガキに問題の答えの他、必要事項をご記入の上、左記宛先までお寄せください。

また、ホームページのお問合せフォームからでも応募いただけます。ハガキ同様に必要事項を入力し、送信してください。

締切: 10月8日(金) 必着

※ご記入いただいた個人情報適切に管理し、景品の発送にのみ使用させていただきます。なお、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

※ご記入いただいた質問や感想を紙面やホームページに掲載させていただきます。ご了承くださいます。ご了承くださいますようお願いいたします。

宛先

〒952-0206 佐渡市畑野甲533番地
佐渡市社会福祉協議会
社協だより担当者 行

記載内容

・問題の答え・氏名(ふりがな)・住所
・電話番号・年齢・社協だよりへのご意見、ご要望など

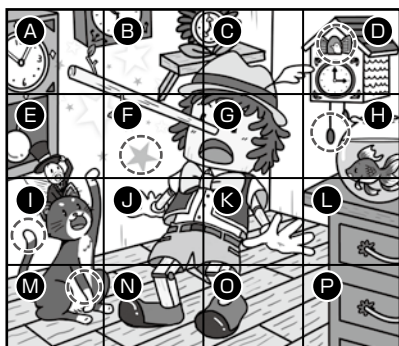
【前回の答え】

165号の答えは

「O.F.F.H.I.M」

でした。

ご応募くださった皆さま、
ありがとうございました。





9月20日は敬老の日

今号では敬老の日を祝して

大正10年生まれ、元気な100歳の

皆さんをご紹介します！



はなしちよこ
葉梨千代子さん

新穂地区

やまぢ
山地

スエさん

真野地区



寿

週3回のデイサービスを楽しみにしています。顔なじみの方も多く、家族のような雰囲気です。みなさん食べ物の好き嫌いはありません。お世話になっていて下さる方々に日々感謝しています。

ほんま
本間トシエさん

両津地区

でぐち
出口

たかとみ
高富さん

羽茂地区



寿

長生きの秘訣は「長く生きるぞ」と強く思うことです。70歳頃から毎朝ベッドの上で大きな字でラジオ体操をしていて、今も一人で歩けます。生きがいは家族が作ってくれる美味しいごはん、週2回のデイサービスで仲間に出会うことです。



寿

昨年転倒して、しばらくは車いすの生活でしたが、今は一人で歩けるようになりました。畑の草むしりなどしています。「いいことは、信用して。悪いことは捨てて。効けばもうけもの。やってみたいとわからない。これが元気の秘訣です。」

皆さん、ありがとうございました。これからもどうぞお元気で！

8月25日時点での内容で掲載しています。

こども向け企画

このマークなあに？

普段見かける色々なマークには、どんな意味があるんだろう？
マークを見かけたら、どうすればいいのかな？

今回は聴覚障がい者マークを紹介するよ。



「聴覚障がい」とは、音が聞こえなかったり、聞こえにくかったりする状態のことを言います。そして、緑色の田の中に黄色い「ちようちよ」が舞うマークが「聴覚障がい者マーク」です。この「ちようちよ」、2つの耳の形からできていることに気づきましたか？

自動車を運転するときには周りの音を聞くことも大切ですが、聴覚障がい者の方は音の代わりに目から得る情報を頼りにしています。それが、ワイドミラーや補助ミラーと呼ばれる「特定後写鏡」の取り付けです。この鏡の取り付けと、聴覚障がい者マークを車の前後に貼ることが、普通自動車を運転する条件になっています。

前回の「身体障がい者マーク」と同じく自動車に関するマークではありますが、皆さんも、運転手の方が周りのサポートを必要とするときには、すすんで声をかけてお手伝いするようにしましょうね。

※特定後写鏡とは、バックミラーやサイドミラーだけでは見えにくい部分を見えやすくするための鏡です。



まとめ

★外見では分かりづらい障がいだからこそ、おもいやりの気持ちと想像力を大切にしよう。

